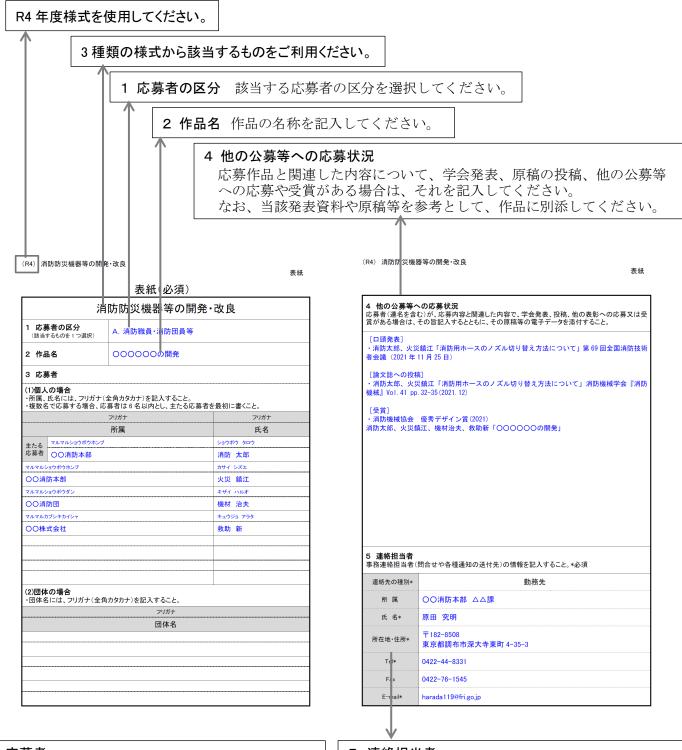
記入例

表紙



3 応募者

個人または団体のどちらかに記入してください。

- ・個人で応募の場合、(1)に応募者を記入してください。
- ・団体で応募の場合、(2) に応募団体名を記入して ください。団体応募欄には個人の氏名を記入しない でください。

5 連絡担当者

事務連絡担当者の連絡先を記入してください。

- ・自宅か勤務先のどちらかを選択してください。
- ・自宅を選択された場合、所属の記入は不要です。
- ・E-mail(必須)は必ず連絡の取れるものを記入してください。

記入例

_	
_	
Δ	·
7	\sim

作品名

火災実験とシミュレーション技術の活用

「消防防災機器等の開発・改良(A・D)」のうち「改良」においては、「製造業者等との相談・調整状況」欄に、製造業者等との相談・調整の有無を記入すること。また、相談・調整「有」の場合はその状況についても記入すること。

1. □はじめに

本文改行

- ↑1文字アキ
- - く(章と章のあいだ)1行アキ
 - 2. □ 実物規模模型を用いた火災実験
 - 2.1□物品販売店舗の商品圧縮陳列棚を模した火災実験

 - 2.2□調理室内における火災実験
 - - く(章と章のあいだ)1行アキ
 - 3. □ 計算条件

く(本文とのあいだ)1行アキ

図・表・:	写真は左	図 1□実験装置		図 2□装置内部	←図下左右中央
右中央に			<1 行アキ		
		表	長1□実験結果の比	較 ←表上左右中央	:

※図・表・写真は文中に入れても良いし、文末にまとめても良い

消防防災機器等の開発・改良 (A·D)

(R4) 消防防災機器等の開発・改良 (R4) 消防防災機器等の開発・改良 本文 1 ※記載例はあくまでも例示です 概要(必須) 本文(必須) ・本質は公開するため、個人が開別出来る写真、団体名、看板、ナンバ -プレート、エンブレム、マーク等の取扱いに注意 *16 ページ以内、フォント: MS 明朝、フォントサイズ: 11、文字数: 38 字/行、行数: 35 行/ページ 1 作品名 ∩∩∩∩**∞®**₩ ・正章で課途を挙げた原や第夏の敗回いに改章(本応書が目的外使用でないか、提供元の下解を得ているか 毎妻確認)「消防防災機能等の解発・改員」のみの派、他は任意 昭・唐・写真の程度、左右中央 ・理章・掲載・中ペプションの位置、昭・写真は四・写真の下左右中央、表は表の上左右中央 ・写真に文字やテロなどの近限されたると様本・グループ化する 2 主たる応募者 (○○消防本部) 消防 太郎 (所属)氏名 又は 団体名 3 要旨と 公開用の図・表・写真 要旨は 280 字以内で配入すること。公開用の写真等は、「本文」の中から適したものを選び、電子 作品名 〇〇〇〇の開発 データ(タテ 3cm、ヨコ 3cm) で貼り付けること。 (字数制限 280 字に設定してあります) 郵 造業者等 機器等の改良の場合における製造業者等との相談・顕整 有口 無口 との相談・「有」の場合、製造業者等との相談・調整の状況について記入すること。 顯整状況 当消防本部の管轄地域における火災の状況は・・・・・・ 上記5つの問題を解決するため、まず・・・・・・ 4 「開発」か「改良」 開発 3. 仕様 5 機器の利用分野 例 : 消火活動、救急教命、災害教助、火災予防、防災訓練、避難誘導 等 6 免行する開発・改良との相連 免行事例について、有無を確認のうえ、「有」場合、相連を簡潔に記載してください。 免行事例の確認結果 □事例有 □事例有 次のサイトについては、必ず掲載確認のうえ、その相違点を記載すること。 浦防研究センターHP(http://oritistra.g.bs/wo-bs-図1 図面(全体) 図2 図面(持ち手部分) 4. 開発による効果、その検証 開発した~~を実際に使用してもらい、以下のアンケート調整を行った。・・・ 3 / 5 4/5 (R4) 消防防災機器等の開発・改良 (R4) 本文 2 アンケート/チェックリスト ★アンケートにご協力ください (これは事務運営に反映するための調査であり、作品の審査には一切影響しません。) この表彰事業を何で知りましたか? 該当について複数チェック可 □ (1)消防署所での掲示を見て 掲示文□ 募集要領□ ポスター ☑ (2)職場への案内で 文書回覧□ 電子メール☑ その他□ □ (3)消防型からの案内で 文書回覧□ 電子メール□ その他□ □ (4)消防大学校で (料 第 別) その他口 □ (5)消防研究センターのイベント等で (イベン)
□ (6)消防研究センターホームページを見て
□ (7)雑誌等に掲載された募集を見て (誌名:
□ (8)その他 ((イベント名) 写真3 使用風景2 2. 広幕作品の完成までにどのくらいの期間を悪しましたか? 今回、○○の問題点は解決されたが、新たに△△についても改良する必要があるの ではないかという問題提起がなされた。・・・・・・・・・・・・・・・ (期間をご記入ください: 3. 来年度も募集があれば、応募しますか? 験当するものにチェックをしてください。

☑ (1) 来年度も応募する
□ (2) 来年度は応募しない (復由: ★提出前にチェックリストでご確認下さい (作成要領や記入例を熟読してください。) 確認事項 応募書類は消防研究センターホームページよりダウンロードした「R4年度」のも チェック Ø いる音楽場は、用助のポセンテーバーンス・ア・ファックフロートした。 104年度」のもので、応募する区分のものを使用しました。 個人情報の扱い個人が鑑別出来る写真、団体名、看板、ナンパーブレート、エ ンプレム、マーク等の)について確認しました。

プレス、マーツ等のについて、簡単的とおいた。 先行事例について、有無を確認のうえ、「有」場合、相連を簡潔に記載しました。 必須項目(チェック機を含む)に全て配入しました。 電子データ(Word/PDF 2種類)を CD に保存しました。 対菌の表書を調に「消防防災科学技術賞応募書版在中」と朱書きしました。 配達記録の残る方法で発送します。 (R4) 消防防災科学論文 (R4) 消防防災科学論文 本文 1 ※記載例はあくまでも例示です 概要(必須) 本文(必須) ・本質は公開するため、個人が開別出来る写真、団体名、看板、ナンバー -プレート、エンブレム、マーク等の取扱いに注意 ・16 ページ以内、フォント: MS明朝、フォントサイズ: 11、文字数: 38 字/行、行数: 35 行/ページ 1 作品名 ○○○○に関する研究 - 年皇で提出を挙げた成め客意の自由いに注意(本応書が目的外使用でないか、提供元の了解を得ているか 等等複数)「南防防災機能等の解発・改良」のあめ流、他は任意 吸・者・写真の程度・左右中央 ・選章・掲載・中ペプションの位置・設と写真は窓や写真の下左右中央、表は表の上左右中央 ・写真に文字や大印などの主教と人れ込む場合、グループ化する 2 主たる応募者 (○○消防本部) 消防 太郎 (所属)氏名 又は 団体名 3 要旨と 公開用の図・表・写真 要旨は 280 字以内で配入すること。公開用の写真等は、「本文」の中から適したものを選び、電子 0000に関する研究 作品名 データ(タテ 3cm、ヨコ 3cm) で貼り付けること。 (字数制限 280 字に設定してあります) 1. 研究の背景 2. 実態調査 4 免行研究との相連 免行事例について、有無を確認のうえ、「有」場合、相連を簡素に記載してください。 ※図・表・写真は任意です **先行事例の確認結果** ☑事例有 次のサイトについては、必ず掲載確認のうえ、その相違点を記載すること。 浦防研究センターHP(http://withforum.in/sucharas collaboration for http://withforum.in/sucharas collaboration/forum.in/sucharas |防研究センターHP (http://refdsfrma.ga.p/scobargs_collaborate Argestroice.htm) 接頭線像 事例者 ② 無 □ 般製団法人全国浦防協会 HP(http://www.fluj-shobo.cr/p/rorbun/index.htm) を確認結果 事例者 ② 無 □ 図1 放水から鎮火まで 図2 覚知から放水開始ま 住宅地域の延続性状についての研究は、木造密集地域の延続に関する、氏姓論太「木造建物地域の延続に関する、氏姓論太「木造建物地域の延続」(2015)等がある。また、大規模維制に関しては、平成××年度消防庁変制作品「都市における大規模維助の延続に関する研究」や、大都市防災研究所等できくの研究がなされている。しかし、市域規模での火災の傾向について、細かく関連した研究は扱かった。本研究は、2014年の消防・火災による論文「住宅特性と消防破構(〇一市における調査から)」によって得られた成果をさらに発展させ、当本部の火災統計と実際の火災内容とを照らし合せて、建物火災の被害地大に高与する関連が、し、その対策を提案した。この点は新しい成果である。また、今回の調査内容は、一地方都市の実態として資料的にも貴重であると考える。 での所要時間と焼損面積 A~D 地区の発掘から環境到着までの平均可要時間

3 / 5 4 / 5

(R4)

アンケートにご協力ください
(これは事務運営に反映するための顕査であり、作品の審査には一切影響しません。)

1. この養彰事業を何で知りましたか? 競当について複数チェック可
□ (1)消防事所での掲示を見て 掲示文□ 募集要値□ ポスター□ その他□
□ (3)消防団からの案内で 文書閲覧□ 電子ゲールご その他□
□ (4)消防大学校で (村 第 期)
□ (5)消防研究センターのイベント等で (イベント名:)
□ (6)消防研究センターのイベント等で (イベント名:)
□ (6)消防研究センターホームページを見て (記名:)
□ (6)消防研究センターホームページを見て (記名:)
□ (8)もの他 ()

2. 応募作品の完成までにどのくらいの期間を要しましたか? 数当するものにチェックをしてください。 □ (1)1か月~3か月 □ (2)4か月~半年 □ (3)半年~1年 □ (4)1年以上 □ (5)その他 (期間をご記入ください:)

3. 来年度も募集があれば、応募しますか? 数当するものにチェックをしてください。 □ (1)来年度に応募する □ (2)来年度は応募する □ (2)来年度は応募する □ (2)来年度は応募する □ (2)ま年度は応募しない (理由:)

チェック機	禮記事項
	応募書類は消防研究センターホームページよりダウンロードした「R4年度」のも
✓	で、応募する区分のものを使用しました。
-	個人情報の扱い(個人が難別出来る写真、団体名、看板、ナンパープレート、エ
	ブレム、マーク等の)について確認しました。
✓	先行事例について、有無を確認のうえ、「有」場合、相違を簡潔に記載しました。
✓	必須項目(チェック欄を含む)に全て記入しました。
✓	アンケートを記入しました。
Z	電子データ(Word/PDF 2種類)を CD に保存しました。
2	封筒の表書き面に「消防防災科学技術賞応募書類在中」と朱書きしました。
- 24	配達記録の残る方法で発送します。

因調査事例(C))
-----------------	---	---

(R4) 原因願査事例

概要(必須)

概要

1 作品名	○○○○○の調査報告	
2 主たる応募者 (所属)氏名 又は 団体名	(○○消防本部) 消防 太郎	
3 要当と 公開用の図・表 要当は 280 字以内で配) データ(タテ 3cm、ヨコ 3cm	人すること。公開用の写真等は、「本文」の中から	5適したものを選び、電子
	(字敷制限 280 字に設定してあります)	本文中の連番:
部項的たのでと、、裏現同合的にの近ら、、裏現同合的にの対応のである。 を機関を開催する果体の 相分離明性の果体の の可明のの理し動物にの明明の を構成したのから、、裏現同合的にの を構成したのがある。 の可明のの理し動物にある。 の可明のの理がある。 の可明ののでという。 をは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	火、新添材に養火し、壁と天井の一 ある。後知の関右、現場からなど考え の関右、現場からなど考え の関右の配線でありった。 は大元は事業者でありたが発え が表現が、また。 は、一般でありたが、 は、一般でありたが、 は、また。 また。 は、また。 また。 は、また。 は、また。 ま	
4 調査を行った機関(協力	かした機関も含む)	
○○消防本部 □□警察署 □□県工業試験センター △△株式会社		

(R4) 原因調査事例

※記載例はあくまでも例示です

本文 1

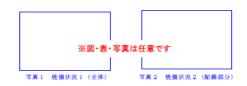
本文(必須)

・16 ページ以内、フォント: MS明朝、フォントサイズ: 11、文字数: 38 字/行、行数: 35 行/ベージ

- 任意で連結を挙
けた認め至夏の前後いに注意(本応書が目的外使用でないか、提供元の了解を得ているか等更確認)「南京防災機器等の開発・改良」のみめ漢、他は任意
- 「説・妻・客真の彼者: 左右中央
- 「選・機等・ギブシンの必要」間・写真は図・写真の下左右中央、表は表の上左右中央
- 写真に文字や安印などの注釈を入れ込む場合、グループ化する

○○○○○の調査報告 作品名

1. 火災の概要

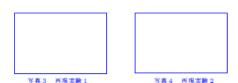


回路図 (メーカー提供) 図 1

3 / 5 4 / 5

(R4) 原因顯査事例

3. 再現実験



5. 再発防止のための措置

(R4)

アンケート/チェックリスト

★アンケートにご協力ください (これは事務運営に反映するための調査であり、作品の審査には一切影響しません。)

1. この表彰事業を何で知りましたか? 腋当について複数チェック可

	(1)消防署所での掲示を見て 掲示文□ 募集要領□ ポスター	−□ その他□
V	(2)職場への案内で 文書回覧□ 電子メール☑ その他	
	(3)消防団からの案内で 文書回覧口 電子メール口 その他に	
	(4)消防大学校で (科第期)	
	(5)消防研究センターのイベント等で (イベント名:)
- ☑	(6)消防研究センターホームページを見て	
	(7)雑誌等に掲載された募集を見て (誌名:)
	(8)その他 ()

2. 応募作品の完成までにどのくらいの期間を要しましたか?

該当するものにチェックをしてください。			
	(1)1か月~3か月		
	(2)4か月~半年		
	(3)単年~1年		
N	(4)1年以上		
	(5)その他 (期間をご記入ください:)	

3. 来年度も募集があれば、応募しますか? 該当するものにチェックをしてください。

☑ (1)来年度も応募する

□ (2)来年度は応募しない (選由:

★提出前にチェックリストでご確認下さい (作成要領や記入例を熟読してください。) チェック機 環联事項 応募書類は消防研究センターホームページよりダウンロードした「R4年度」のもの **2** 応募養類は消防研究センターホームページよりダウンロードした! R4年度」のもので、応募する区分のものを使用しました。 個人情報の扱い(個人が識別出来る写真、団体名、看板、ナンパーブレート、エン ブレム、マーク等のについて確認しました。 光行事例について、有無を確認のうえ、「有」場合、相違を簡潔に配載しました。 必須項目(チェック開を含む)に全て配入しました。 アンケートを配入しました。 アンデーで記入しました。 電子データ(Word/PDF 2種類)を CDに保存しました。 対策の表書を頭に「消防防災科学技術賞応募書類在中」と朱書きしました。 配達配録の残る方法で発送します。

本文 2